

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンターあさひが丘 児童発達支援 ルウ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童指導員・保育士に加え、公認心理師、言語聴覚士、理学療法士等のセラピストが巡回し、専門職を交えたミーティングや定期的なチーム会議でお子さまの実態を深く考察する機会を設けており、質の高い療育が提供できているのではないかと思います。	・チーム間で意見交換ができるよう、ミーティング時にはセラピストが同席し、活動で気になった点や改善事項等、保育士、児童指導員とは異なった視点で情報共有を行っています。	・日々のミーティングに加え、支援方法に迷いがある職員がいた際には、定期的なチーム会議を通して、タイムリーに情報を全チーム職員へ共有する等の取り組みを行っています。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・経験年数が浅い職員から長い職員まで在籍しているため、お子さまへの支援の力量には多少の差があると思われます。	・経験の浅い職員については、先輩職員やセラピストのフォローを受けながら、こどもと関わる機会を多くもち、また、支援で悩む場面ではすぐに相談できる環境を通して、支援者として成長できるよう努めています。	・どの職員が支援をしても、高い水準でお子さんへの支援が達成できるよう、日々のミーティングの振り返り、自己研鑽、セラピストからの助言等、職員自身が成長できる機会を作っていきます。また、入職歴が浅い職員には、組織として求める一定のハードルについても、浸透させるような働きかけを行っています。
2			
3			